

地域医療再生基金事業の執行状況（H30実績、R1計画）

資料 1-1

平成30年度執行額 103.0 億円

1 避難地域の医療提供体制の再構築

- ①医療機関等の再開支援
 - ・歯科診療所の再開に係る施設・設備整備、及び医療機関等への運営費支援。
- ②二次医療提供対体制の整備
 - ・「ふたば医療センター附属病院」の運営費を支援。
 - ・多目的医療用ヘリの運行開始。

2 近隣地域の医療提供体制の充実

- ①専門医療の提供体制を充実
 - ・帰還住民を含む新規透析患者の受入体制を整備（3病院）
- ②避難住民への医療提供体制の確保
 - ・「双葉郡立診療所」の運営費を支援。

3 原子力災害により不足した医療従事者の確保

- ①短・中期的な医療従事者の確保
 - ・県外からの医療支援等に要する経費を支援。
医師 465 名、看護師 4 名、他 1 名
- ②長期的な医療従事者の確保
 - ・将来、県内の公的医療機関等に勤務しようとする者に対して、修学資金を貸与。
医師 186 名、保健師等 214 名、理学療法士等 344 名

4 浜通り地方の二・三次救急医療の強化

- ①「いわき市医療センター」の施設・設備整備等を支援。
 - ・平成30年12月、いわき市医療センター一開院。

図：避難地域の医療機関の稼働状況

医療機関	震災前	震災直後	R1.5 現在
病院	8	1	3
診療所（うち、企業内診療所等）	60（17）	3（3）	23（8）
歯科診療所	32	0	6
薬局	31	0	3
合計	131（17）	4（3）	35（8）



令和元年度執行予定額 59.4 億円

1 避難地域の医療提供体制の再構築

- ①医療機関等の再開支援
 - ・引き続き、内科・歯科診療所等、地域で必要とされる医療機関の再開を支援。
- ②二次医療提供体制の整備
 - ・「ふたば医療センター附属病院」の運営費を支援。
- ③（新）医療情報連携体制の構築
 - ・医療情報の連携体制の構築に必要な電子カルテ等の整備を支援。

2 近隣地域の医療提供体制の充実

- ①（新）地域の中核的な役割を担う病院の取組を支援
 - ・震災の影響により休床している病院の再開や、新たな診療科目の開始等を支援。
- ②避難住民への医療提供体制の確保
 - ・「双葉郡立診療所」の運営費を支援。

3 原子力災害により不足した医療従事者の確保

- ①短・中期的な医療従事者の確保
 - ・引き続き、県外からの医療支援等に要する経費を支援。
- ②長期的な医療従事者の確保
 - ・将来、県内の公的医療機関等に勤務しようとする者に対して修学資金を貸与。

4 浜通り地方の二・三次救急医療の強化

- ①（新）二次・三次救急医療機関との連携体制を充実
 - ・避難地域の医療機関から搬送される、専門的な治療等を必要とする患者を受け入れるための体制を整備。